

1.

$$A = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$$

を行列式が1の行列とする： $ad - bc = 1$ 。Aのトレース $a + d$ を t とする： $t = a + d$ 。このとき

$$A^2 = f(t)A + g(t)I$$

を満たす関数 $f(t)$, $g(t)$ を求めよ。ここで I は単位行列を表す。ただし $A \neq \pm I$ と仮定しておく。

さらに、 $t = 0$ または $t = \sqrt{2}$ のとき、それぞれ $A^4 = I$ または $A^4 = -I$ となることを示せ。

2. 関数 $g_{a,b,c,d}(t)$ を

$$g_{a,b,c,d}(t) = \frac{at + b}{ct + d}$$

で定義する。ここで a, b, c, d は $ad - bc \neq 0$ を満たす任意の実定数。このとき $g = g_{a,b,c,d}(t)$ は

$$(*) \quad \left(\frac{g''}{g'} \right)' = \frac{1}{2} \left(\frac{g''}{g'} \right)^2$$

を満たすことを示せ。ここで $' = d/dt$ 。さらに任意の $a, b, c, d, \hat{a}, \hat{b}, \hat{c}, \hat{d}$ ($ad - bc \neq 0, \hat{a}\hat{d} - \hat{b}\hat{c} \neq 0$) に対して

$$g = g_{a,b,c,d}(g_{\hat{a},\hat{b},\hat{c},\hat{d}}(t)) = g_{a,b,c,d} \circ g_{\hat{a},\hat{b},\hat{c},\hat{d}}(t)$$

も (*) を満たす理由を説明せよ。

3. (1) 次の重積分を求めよ。

$$\int_{0 \leq y \leq \sqrt{1-x^2}} x^2 y dx dy.$$

(2) $r: [a, b] \rightarrow \mathbf{R}^+$ を連続微分可能な関数とし、 (x, y) - 平面上の曲線 $x = r(\theta) \cos \theta$, $y = r(\theta) \sin \theta$, $a \leq \theta \leq b$ を α とする。ここで $0 \leq a < b \leq \pi/2$ 。曲線 α 上の各点と原点を結ぶ線分から出来る扇形領域の面積を A , α の長さを \mathcal{L} とするとき

$$A = \int_a^b f(r) d\theta, \quad \mathcal{L} = \int_a^b g(r, r') d\theta$$

となる $f(r)$ と $g(r, r')$ を与えよ。さらに $r(\theta) = 1/\cos \theta$ の場合の A または \mathcal{L} の上記公式を用いて

$$\int_0^{\pi/3} \frac{d\theta}{\cos^2 \theta} = \sqrt{3}$$

を説明せよ。

4. (1) 次の関数 $f(x, y)$ の偏導関数 $\partial f/\partial x$, $\partial f/\partial y$ を計算せよ. \sin^{-1} は \sin の逆関数.

$$(i) f(x, y) = e^{3x} \cos 2y, \quad (ii) \sin^{-1} \frac{x}{y}.$$

(2) 関数 $f(y_1, y_2)$ が 2 階連続微分可能であるとき、 $f(ax_{11} + bx_{12}, ax_{21} + bx_{22})$ (a, b は定数) について

$$\frac{\partial^2 f}{\partial x_{22} \partial x_{11}} - \frac{\partial^2 f}{\partial x_{21} \partial x_{12}}$$

を計算せよ.

5. 次の 2 次対称行列

$$A = \begin{pmatrix} 5 & -\sqrt{3} \\ -\sqrt{3} & 7 \end{pmatrix}$$

を直交行列 P を用いて対角化せよ.